

令和5年度 子どもの生活に関する実態調査の実施状況について

子どもの生活に関する実態調査 配付・回収の状況（令和5年8月22日時点）

	配付数	回収数※	回収率
小学5年生こども	18,983	13,064	68.8%
小学5年生保護者	18,983	13,112	69.0%
中学2年生こども	16,920	11,488	67.9%
中学2年生保護者	16,920	11,460	67.7%
5歳児保護者	18,716	14,214	75.9%
合 計	90,522	63,338	70.0%

※ 調査票として回収したもので、有効回答数とは限りません。

令和5年度 子どもの生活に関する実態調査の実施状況について

実態調査結果からの課題の抽出と施策の検討イメージ

こども・保護者への実態調査結果

- ・5歳児保護者
- ・小5児童・保護者
- ・中2生徒・保護者

1 課題の抽出

・全市的な課題の抽出とともに各区(地区)別の課題の抽出が可能である。

②ヒューマンキャピタル
(教育レベル等)の欠如

③ソーシャルキャピタル
(近隣や友人等、つながり)の欠如

①物的資源(現金やサービス等)の欠如

①、②、③が重なる
ところが最も困難を抱えた層

こどもの貧困対策

- ・教育の支援
- ・生活の支援
- ・保護者に対する就労の支援
- ・経済的支援 他

2 必要な施策の検討 3 区・局の役割の検討

・全市的な施策の検討とともに各区(地区)別の施策の検討が可能である。

(注)調査結果データの相関性など詳細の分析は、大阪公立大学に委託

令和5年度

大阪市子どもの生活に関する実態調査

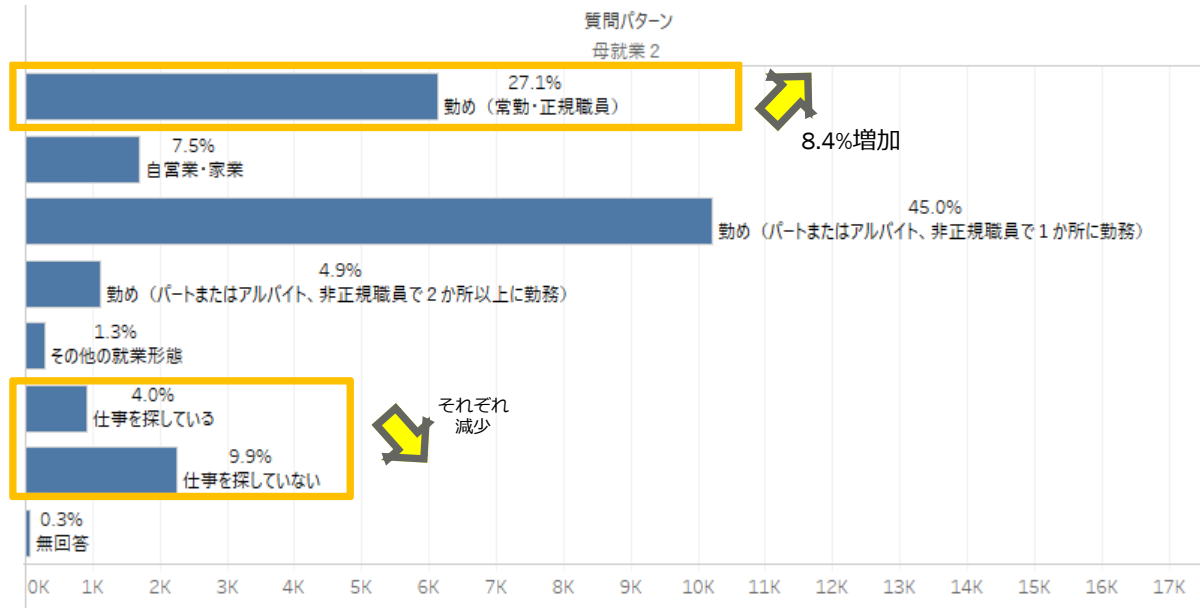
(速報値結果抜粋)

母親の就業状況

小中学生保護者について、「勤め（常勤・正規職員）」が前回（H28調査）と比較して18.7%→27.1%と、**8.4%の増加**。

その反対に、「仕事を探している」が5.9%→**4.0%**に、「仕事を探していない」が13.6%→**9.9%**に**減少**。

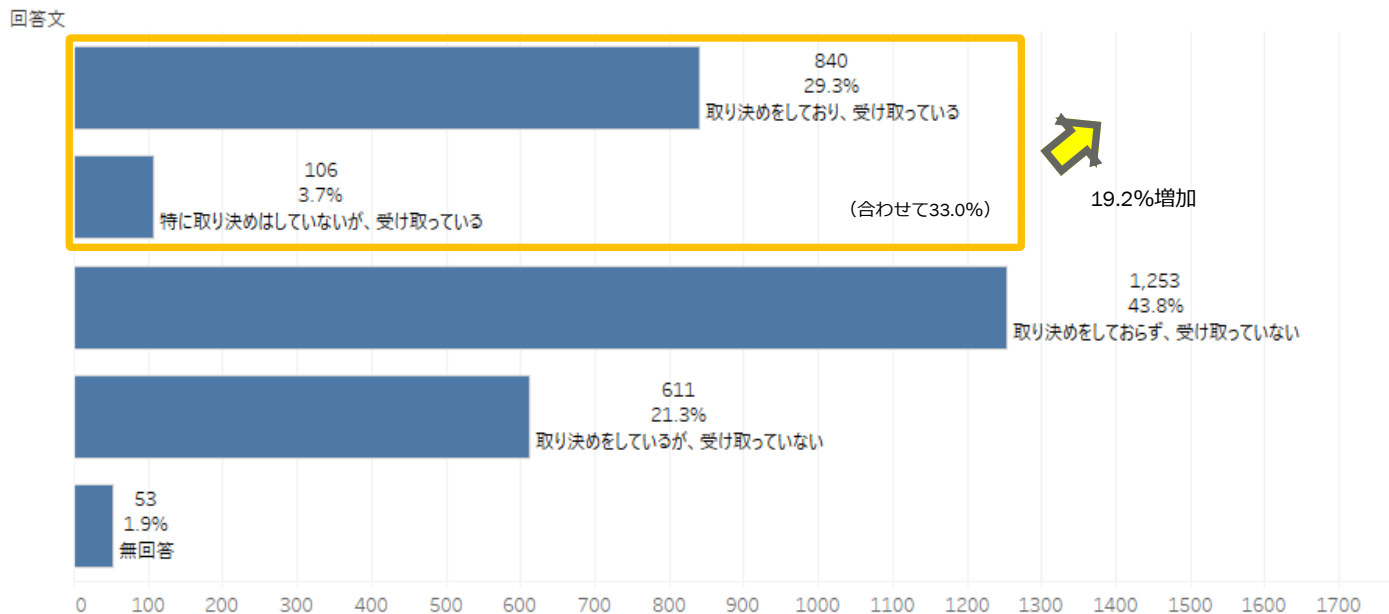
母就業



養育費の受け取り状況

小中学生保護者について、前回（H28調査）の「受けている」が9.1%、「受けたことがある」が4.7%で、合わせて**13.8%**あったのに対して、今回「取り決めをしており受け取っている」が29.3%、「特に取り決めはしていないが、受け取っている」が3.7%となり、合わせて**19.2%の増加**。

養育費



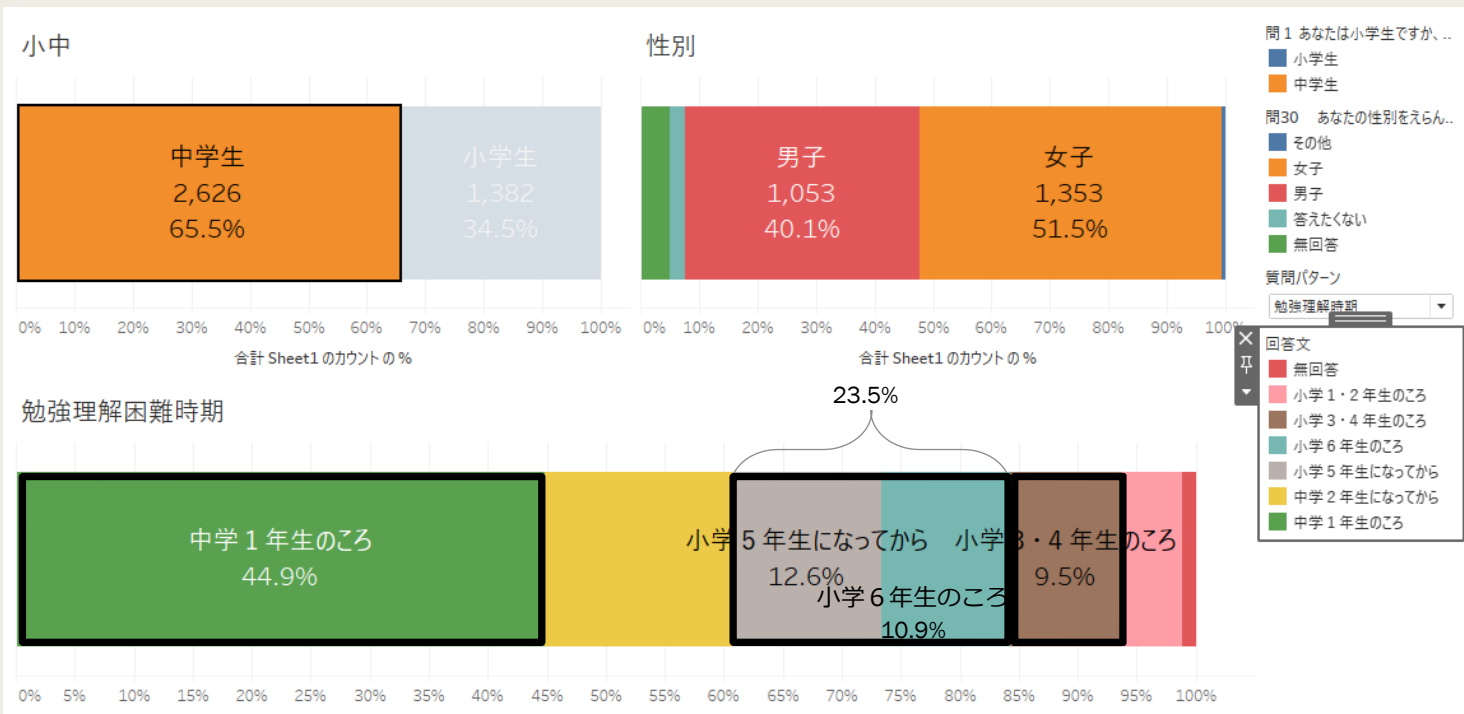
いつ頃から授業が分からなくなることがあるようになったか

中学2年生においては、「中学1年生の頃」が44.9%、「小学5・6年生の頃」が23.5%、「小学3・4年生の頃」が9.5%となっている。

R3の国の調査においては、「中学1年生の頃」が50.5%、「小学5・6年生の頃」は17.8%、「小学3・4年生の頃」が6.8%となっており、

小学生の頃から分からないことがある割合が、国に比べて高くなっている。

なお、小学5年生において「小学3・4年生の頃」が47.7%、「小学5年生になってから」が35.6%と高学年になってわからなくなることがあると感じる子が多くなっている。



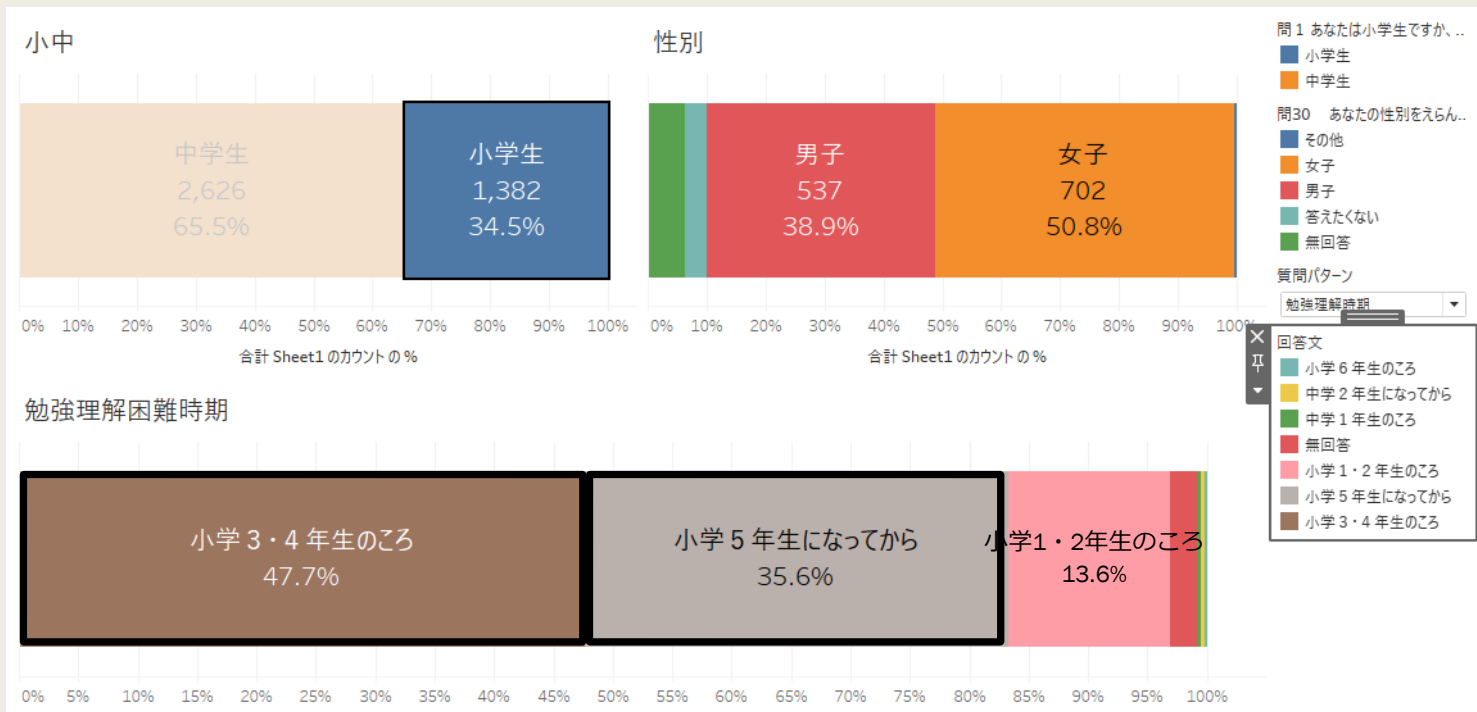
いつ頃から授業が分からなくなることがあるようになったか

中学2年生においては、「中学1年生の頃」が44.9%、「小学5・6年生の頃」が23.5%、「小学3・4年生の頃」が9.5%となっている。

R3の国の調査においては、「中学1年生の頃」が50.5%、「小学5・6年生の頃」は17.8%、「小学3・4年生の頃」が6.8%となっており、

小学生の頃から分からないことがある割合が、国に比べて高くなっている。

なお、**小学5年生において**「小学3・4年生の頃」が**47.7%**、「小学5年生になってから」が**35.6%**と高学年になってわからなくなることがあると感じる子が多くなっている。



嫌なことや悩んでいることがあるときの相談相手

前回（H28調査）と比較して、「学校の先生」が12.5%→**17.8%に増加**し、「親（61.3%）」、「学校のともだち（48.8%）」について3番目に多い回答となり、「だれにも相談したくない」が11.8%→**6.6%に減少**した。

小中×性別×各質問

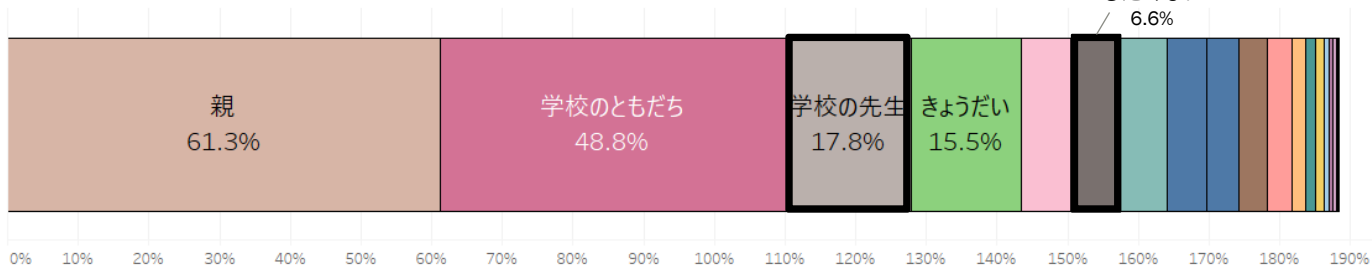
小中



性別



相談相手



問1 あなたは小学生ですか、それと..

- 小学生
- 中学生

問30 あなたの性別をえらんでくだ..

- その他
- 女子
- 男子
- 答えたくない
- 無回答

質問パターン

相談相手

回答文

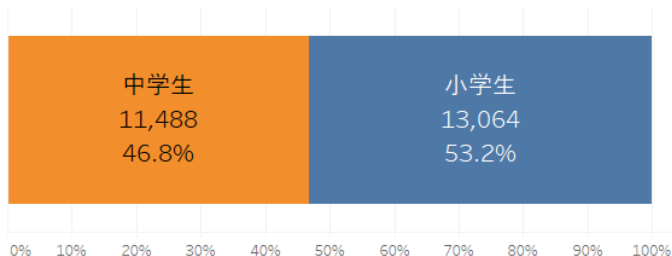
- 地域の支援団体（学習..
- こども専用の電話相談
- 近所の人
- 学童保育の先生
- SNSなどのインターネットや..
- スクールカウンセラー、ソーシ..
- その他の人
- インターネットやサイトなどを..
- だれにも相談できない
- 塾や習いごとの先生
- 親せき
- 無回答
- だれにも相談したくない

こども食堂の利用状況

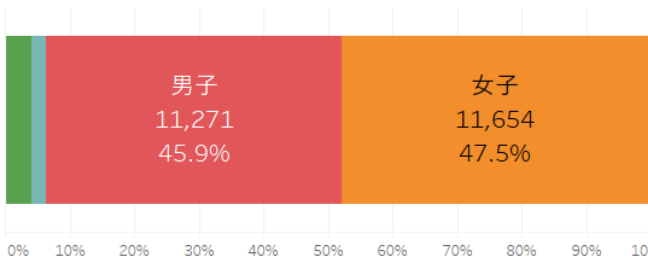
R3の国の調査においては、「利用したことがある」が**2.8%**であったが、本市で初めて調査した今回の結果においては、こども食堂などを「利用したことがある」が**10.1%**であり、本市のこどもの、こども食堂の利用状況について、全国と比べて高い数値が表れた。

小中×性別×各質問

小中



性別



問1 あなたは小学生ですが、それと..

- 小学生
- 中学生

問30 あなたの性別をえらんでくだ..

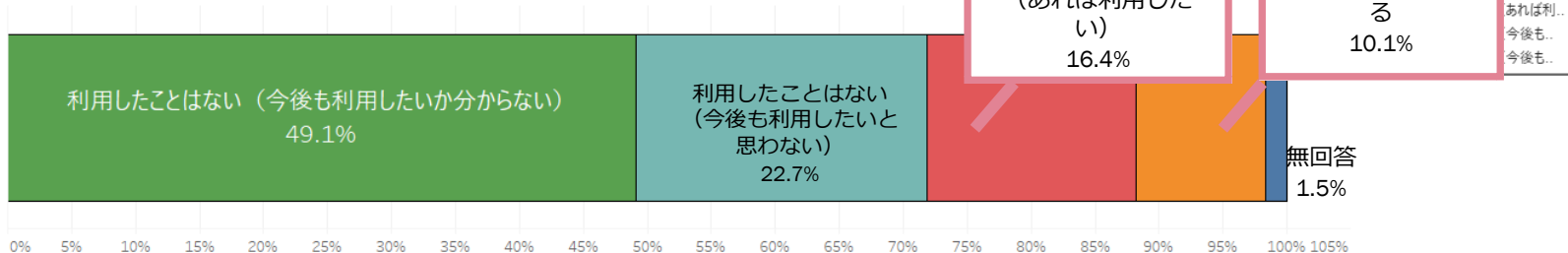
- その他
- 女子
- 男子
- 答えたくない
- 無回答

質問/ターン

こども食堂など

回答文

こども食堂など



身近な場所にあったら良いと思うもの

小中学生保護者について、「子どもが無料で学習支援を受けられる場所」が41.4%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が31.2%、「子どもが放課後や休日に勉強等ができる場所を利用できること」と「支援制度など必要な情報を届けてくれること」が29.0%となった。（※前回（H28調査）項目なし）

身近にあるといいと思うこと

